

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 bonキッズ谷町

公表日 2025(令和7)年 12月 19日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	12 (100%)	0 (0%)	人数調整、職員配置工夫できている。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	11 (91.7%)	1 (8.3%)	今期は必ずフリーのスタッフを配置するようにした。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	12 (100%)	0 (0%)		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	12 (100%)	0 (0%)		
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	12 (100%)	0 (0%)	パーティションなどで場所は確保している。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	12 (100%)	0 (0%)	できる限り全職員が共有できるように出勤日でない職員はオンラインで参加するなど、ハイブリッド形式で会議を行っている。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12 (100%)	0 (0%)	年に2度、外部コンサルを受けている。/SVを多方面から取り入れ第三者の意見を取り入れる点が工夫されている。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12 (100%)	0 (0%)	定期的なヒヤリングの実施と共に、職員間で、経験、年齢を問わず対等に意見交換ができ、害に尊重しあえる仲間づくりを心掛けている。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8 (66.7%)	4 (33.3%)	年に2度、外部コンサルを受けている。/SVを多方面から取り入れ第三者の意見を取り入れる点が工夫されている。/定期的に外部講師等にスーパーヴァイズに現場に入って頂き、業務改善、支援のアイデア等の助言を頂いている。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	11 (91.7%)	1 (8.3%)	自主的な参加が多いため、仕組み化できればよりよいと感じる。	
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	12 (100%)	0 (0%)	療育のたびに子どもの姿を通して保護者とともに支援プログラムを具体的に確認、修正をするようにしている。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	12 (100%)	0 (0%)	療育のたびに確認し、修正、工夫をしている。しかし、準備、記録等に費やす時間が限られているので、良い効果的に実施するためには時間的余裕が必要と思われる。そのためには公的予算の引き上げが望まれる。	
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	12 (100%)	0 (0%)	もう少しスタッフ同士でケース検討できる時間を確保したい。/アセスメントは限られあ時間ないで、職員全員が共通理解できるようにケース会議を設定するようにしている。動画をフルに活用し、共有するようにもしている。	
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	12 (100%)	0 (0%)	職員間で共有し、支援の具体的な確認は児発管が中心に必要なに応じて支援場面を共有したり助言したりするようにしている。	

15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	12 (100%)	0 (0%)	初期アセスメントはもちろん、療育のたびに必要インフォーマルアセスメントは実施し、保護者、職員間で共有している。本人の状況を共有するためにスキルのチェックシートを活用してデータ化している。フォーマルアセスメントに関しては、必要に応じて実施することを心掛けているが、一定時間を要するため、枠組みに苦労する。	
16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	12 (100%)	0 (0%)		
17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	11 (91.7%)	1 (8.3%)	活動内容等についてスタッフ間で日常的に話している。/理想はチームで行いたい、その時間がほとんどない。/勤務時間がバラバラのためzoom等の活用が必要。/プログラム終了毎に振り返りを行い次回へ向けての話し合いを行っている。/ミーティング等でできていると思います。/チーム内で情報共有し、プログラムについて常に話し合える環境を用意できている。/会議の中などで話し合いをしながら進めている。/意見を出し合いそれを協議し次に活かしている。/内部見当をみんなで実施。/必ず情報共有する場を持ち、担当者の主観だけでプログラムを立案しないようにしている。	支援計画を基にプログラム主担スタッフを軸として、スタッフの意見交換の上でプログラムの立案を行っています。時間の作り方には改善の余地があると感じており、時間を有効に使うために話し合う内容を絞ったり、よりチームで取り組むためにZoomの活用などを検討する必要があります。
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	11 (91.7%)	1 (8.3%)	活動内容は毎回個別スケジュールに提示し、本人と共有して実施している。特に工夫しているのは、子どもが選択したり、組み立てたり、交渉したりする経験をもつことで、将来的に本人なりの自立を目指している。	プログラム実施後にスタッフ全体で振り返りのミーティング等を行い、利用児童に合わせた次のアイデア等の意見交換を行っています。
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	12 (100%)	0 (0%)	個別活動を中心に取り組む中で、必要に応じて場を共有している他児との交流を計画し実施している。	
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	12 (100%)	0 (0%)	意識はしているが十分にはできていない。時間が少ない。/限られた時間の活用として、朝のミーティング、午後一番のミーティングでその日の支援内容などを、伝達しあっている。	
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	10 (83.3%)	2 (16.7%)	できるように朝礼、昼礼の仕方の工夫などしているが、十分ではない。	プログラム実施後に職員全体で振り返りのミーティングを行いたい。話し合う時間は確保していますが、まだまだ足りていないと感じております。
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	12 (100%)	0 (0%)		
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	12 (100%)	0 (0%)	特記事項があれば必ず共有と検討は徹底しているが、追いつかない。	
24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	12 (100%)	0 (0%)		
25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9 (75%)	3 (25%)	状況に応じて連携は図っている。	全員ではなく、状況に応じて各関係機関と連携して支援を行っています。
26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9 (75%)	3 (25%)	保育所等訪問を実施したり、先生方に見学に来ていただくなど園や学校等と連携を図っている。また、他事業所とは必要に応じて電話やケース会議等で情報共有を図っている。	契約時・モニタリング時に情報共有の機会が持てる旨はお伝えしていますが、すべての方が利用されるわけではありません。また、保護者研修の中で、サポートブックの書き方を説明しています。希望があれば添削など個別で書き方の相談に応じ、保護者様を通して聞

関係機関や保護者との連携	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8 (66.7%)	4 (33.3%)	状況に応じてケース会議への参加はしている。/サポートブックの作成を手伝ったり保護者様を通して就学先への情報共有や相互理解に努めている。	直接的に情報共有に努めています。
	28	(28~30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	6 (50%)	6 (50%)	地域交流は実施できていないが、独自に外部講師によるコンサルテーションは受けている。	地域の児童発達支援センターや基幹相談支援センターと連携をとっていく必要があります。
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2 (16.7%)	10 (83.3%)		地域の発達に心配を抱える児童とその保護者に向けて施設の利用や相談を利用できる日を設けていく必要があります。	
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	12 (100%)	0 (0%)	必ず保護者との会話の機会を設け、こどもの様子を伝え聞き取りもしている。/保護者には、基本的に療育の場に参加していただき、いっしょに取り組むようにしている。また、参加のない保護者に対しては、その日の様子を口頭や視覚的に伝え、共有している。必要に応じて、動画を撮って、見ていただくようにしている。		
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	12 (100%)	0 (0%)	保護者研修を行っている。/保護者研修をしています。/必要に応じて家族支援(居宅、オンライン)を利用してもらったり、研修の機会や案内、先輩保護者の話等はタイムリーに実施している。		
保護者	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	12 (100%)	0 (0%)	全体に向けての説明、個別での説明を、時間を取って実施している。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	12 (100%)	0 (0%)	保護者、子どもの初回面談では、個々に時間をかけて実施している。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	12 (100%)	0 (0%)	その場で案を示したり、一緒にプランニングする中で進めている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	12 (100%)	0 (0%)	面談の時間を設けたり、電話などでの相談にも応じている。/療育以外に時間を取る必要があるときは、家族支援(オンラインや居宅、対面)の時間を設定し、実施している。タイムリーに家族支援に応じるためには、そのための要員を確保できるよう予算を確保することが重要である。法改正に伴う予算に加算の増額を計上することが家族支援の補償につながる。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7 (58.3%)	5 (41.7%)	保護者研修をしています。	父母の会の支援は行っていませんが、保護者研修のグループワーク等で、保護者同士のつながりができるよう努めています。

への説明等	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	12 (100%)	0 (0%)	担当者以外に、管理者、主に児発管が対応できるよう、体制を作るようにしている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	10 (83.3%)	2 (16.7%)		療育の保護者席に掲示物、書籍、チラシを設置しています。また、ホームページのブログ等で事業所についての発信に努めています。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	12 (100%)	0 (0%)	書庫には必ず鍵をかける。廃棄する際にはシュレッダーを用いて廃棄している。/個人情報のファイル等は鍵付きのロッカーに入れている。/メール添付で送るときはパスワードを掛けるようにしている。研修等の情報公開に関しては視覚的に説明し、視覚的に承諾を得るようにしている。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	12 (100%)	0 (0%)	pecsなど表出の支援を行っている。/その子どもが理解できるための視覚的情報伝達手段を使用している。保護者に対しても専門用語は控え、具体的に重要なことは視覚的に伝えるようにしている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3 (25%)	9 (75%)	地域のイベントに出店し、広報活動や地域の方達との交流を行いました。	事業所内での企画ではないため、継続が難しい点が課題です。来年度も企画が上があれば参加したいと考えています。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	11 (91.7%)	1 (8.3%)	担当者を決め、計画的に実施している。	非常時に対応できるよう、各種マニュアルを策定し、スタッフや保護者がいつでも確認できる場所に設置していますが、情勢に応じてマニュアルを改善していけるようスタッフ間で情報等共有し、随時周知していく必要があります。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	12 (100%)	0 (0%)	避難訓練をしています	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	12 (100%)	0 (0%)	利用者台帳。/初期面談での確認、その後タイムリーに保護者に連絡を受けるようにしている。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10 (83.3%)	2 (16.7%)	利用者台帳。	初回面談時に、アレルギー情報を記載したチェックシートを提出していただき、面談時に詳しく聞き取りを行っております。毎療育時に、パッと見て確認できるよう個別ファイルへの記載の仕方を改善していきます。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	12 (100%)	0 (0%)		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	11 (91.7%)	1 (8.3%)		契約時に説明させて頂くとともに、入口に内容を掲示しております。アンケート結果に基づき改めて職員間でも周知徹底する必要があります。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	11 (91.7%)	1 (8.3%)		ヒヤリハット事例の作成・周知に努めます。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	12 (100%)	0 (0%)		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	10 (83.3%)	2 (16.7%)		身体拘束等の事案が現状有りませんが、契約時に具体的に説明はさせて頂いておりません。	